

# YOUNG

# 何か感じた現場体験

山新 8/24

な表情を浮かべる。参加者それぞれが言葉では表現しきれない、何かを感じ、ただただ作業に没頭していた。

東日本大震災の発生から、今月11日で1年半が経過した。しかし、被災地では復興への道のりはまだ始まったばかり。同じ「東北人」である本県の若者たちは今、何ができるのか。数十人の若者とともに被災地を訪れ、考えてみた。

名古屋市などの活動を通して人材育成を図る「やまがた若者キャラバン隊」(県主催)の参加者約40人が15日、宮城県東松島市を訪れた。10月下旬の出發を前に、事前研修としてボランティア活動に取り組み、被災地の現状を学んだ。一行がバスで同市を訪れると、沿岸部には雑草が生い茂る土地が広がっていた。かつては住宅地だったという場所。おしやべりに夢中だった参加者たちも、窓の外の光景に自然と口数が少なくなっていく。米沢市関根、会社員斎藤千広さん(24)は「津波で流された街を實際に目にして、いかに大きな



漂着した流木を運ぶ参加者たち。流木はやがて、人が集う公園のベンチとして再利用される  
＝宮城県東松島市

## 被災地のためにできること～ボランティアに同行



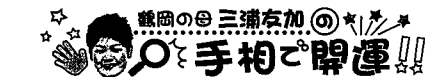
屋敷時、希望者は地元業者から弁当を注文。これも復興支援の一つの形  
沿岸部にあった公民館。津波の破壊力の大きさを物語るたすまいに、参加者たちは言葉を失った

### 気付いたら行動して

地震だったのかを思い知った(参加者たちも)。一行は近くの海岸に移動し、がれき撤去や、ベンチの材料となる材木集めに取組むことに。参加者たちは「あれき」とは言っても、かつてはそこに暮らしていた人たちの生活の一部を壊したものは、川西町の公園を整備しようと活動を続けている。「訪れた人にお弁当を食べたりできるんですよ」との風景を見て、震災直後の様子を想像してはみるけれど、安易に理解は行動に移してみてもいい。語る黄本代表の力強い言葉(報道部・八木みどり)

■訪れる意味とは

理想高いんであんめん爪 27歳は忍ます、パツと見や気になるのは、手のひらがサラみでな柄なこと。厚さもめだし、ちよっと栄葉片つてるんであんめん爪のひらの右下部分に横しが多いので、肝臓も荒れみっばい。



「入社3年目となり、仕事も一通り覚えてきました。今後一層仕事面で成長していくためには、どんなことが必要でしょうか？ 将来の見通しも含めて教えてほしいです」

(米沢市、25歳男性)

人さし指の爪だけが胸自分にも他人にも理想



理想が高いんであんめん爪

【LOVE LOVE LOVE /Sun in the Rain】ピクチャー、VICL63909、2800円  
京都発の3人組バンドのメジャーデビューアルバム。連続ドラマ「深夜食堂」のテーマ曲としても注目を集めた「嘘(うそ)のつき方」も収録し、哀愁漂う素朴な演奏と歌声で、ほっとする音色を紡ぎ出す。地方色を醸し出す歌詞も趣深い。



【ヤング・アダルト】パ

【戦火の馬】ウォルト・

天月

根木のん